

「ダブルバルーン内視鏡システム2」の付属品

オーバチューブ TS-1114B

再使用禁止

*【警告】

適用対象(患者)

全身状態が極めて不良な場合、イレウス、消化管穿孔、呼吸器疾患、循環器疾患、クローン病、狭窄、大きな潰瘍、腫瘍などの内視鏡検査を行うことが危険と見なされる場合には、内視鏡検査を行うことの有効性が内視鏡検査を行うことの危険性を上回る場合のみ施行すること。[消化器内視鏡ガイドラインによる]

*【禁忌・禁止】

適用対象(患者)

次の患者には使用しないこと。[使用実績に基づき設定]

- ・急性腹症のある患者
- ・重篤な急性炎症のある患者

使用方法

この製品を再使用しないこと。[感染を起こすおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

** <形状>

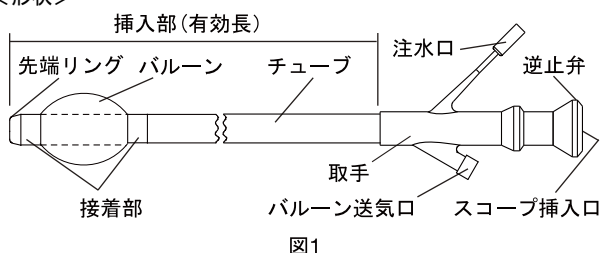


図1

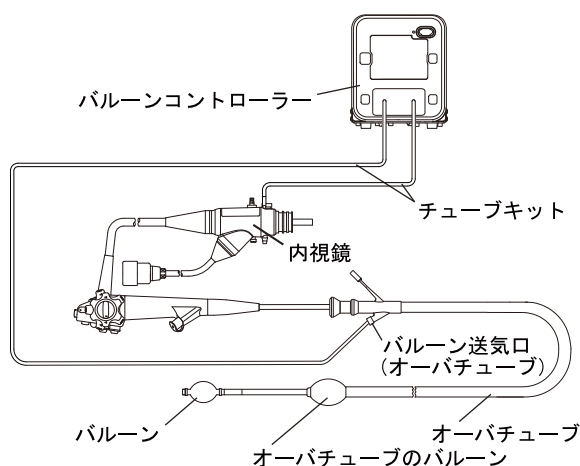


図2

1. 構成

* 本製品(図1)は、「ダブルバルーン内視鏡システム2」の付属品である。「ダブルバルーン内視鏡システム2」は、本製品、内視鏡、バルーン、バルーンコントローラーおよびチューブキットで構成され(表1、表2)、これらを接続して使用する。図2は接続時の状態である。

* 表1 「ダブルバルーン内視鏡システム2」の構成

構成機器名称	
内視鏡	電子内視鏡 EN-580XP
オーバチューブ ※1	オーバチューブ TS-1114B
チューブキット※3	チューブキット TY-500
バルーン ※1	バルーン BS-4
バルーンコントローラー ※2	バルーンコントローラー PB-30

※1 オーバチューブおよびバルーンは滅菌済みの単回使用であり、消耗品のため補充用として単体流通することがある。

※2 バルーンコントローラーは単体でも流通する。

※3 チューブキットは、消耗品のため補充用として単体流通することがある。

なお、ダブルバルーン内視鏡システム2の構成医療機器のうち既承認、既認証及び既届出の医療機器について、その製造販売承認、製造販売認証及び製造販売届出の情報を以下に示す。

構成医療機器である 既製造販売承認医療機器、 既製造販売認証医療機器又は 既製造販売届出医療機器の名称		製造販売承認、 製造販売認証番号又は 製造販売届出番号
主たる一般的名称	販売名	
ビデオ軟性小腸鏡	電子内視鏡 EN-580XP	225AABZX00137000
オーバチューブ	オーバチューブ TS-1114B	225AABZX00138000
チューブキット	チューブキット TY-500	14B2X10002A0D008
腸管用バルーン カテーテル	バルーン BS-4	22600BZX00345000
内視鏡用バルーン ポンプ	バルーンコントロー ラー PB-30	14B2X10002A0V013

製造販売業者名 : 自社

表2 構成機器の組合せ

販売名	ダブルバルーン内視鏡システム2				
識別子	内視鏡	オーバ チューブ	チューブ キット	バルーン	バルーン コント ローラー
-580XP-	電子内視鏡 EN-580XP	TS-1114B ※1	TY-500※4	BS-4※2	PB-30※3

※1 本製品は、内視鏡 EN-580XP およびバルーンコントローラーと接続して使用する。

※2 BS-3も組合せ可。

* ※3 バルーンコントローラーを含まない製造販売の形態もある。PB-30は単体でも流通する。

※4 チューブキットは、消耗品のため補充用として単体流通することがある。

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ004A-6 202B1321569C

1802-4.0-DC

2. 仕様

項目	諸元
挿入部外径	11.6mm
挿入部内径	9.2mm
挿入部最大外径	14.8mm
バルーン外径	40.0mm(伸展時)
バルーン有効長	50mm
有効長	1350mm
全長	1450mm

3. 動作環境

- * 温度: +10 ~ +40℃
- 湿度: 30 ~ 85%RH (結露状態を除く)
- 気圧: 70 ~ 106kPa (大気圧範囲)

<構造・構成ユニット>

** 1. 体に接触する部分の組成

挿入部

- バルーン : シリコーンゴム
- チューブ : ポリビニルピロリドン、シリコーンゴム
- 接着部 : シリコーン混和物
- 先端リング : シリコーンゴム (硫酸バリウム含有)
- 取手 : ポリビニルピロリドン、シリコーンゴム
- 注水口 : シリコーンゴム
- 逆止弁 : シリコーンゴム
- スコープ挿入口 : ポリビニルピロリドン、シリコーンゴム

<作動・動作原理>

バルーン送気口から空気を送るとバルーンが膨らみ、吸引すると収縮する。
注水口から潤滑用の水を注入できる。

【使用目的又は効果】

本製品は、医師の管理下で医療施設において、体内へ内視鏡を挿入するために用いる。

【使用方法等】

<使用方法>

- 挿入部の外観に、異物の付着および傷やへこみ等の異常や患者を傷つけるおそれのある鋭い縁、突起がないことを確認する。
- 滅菌済みシリンジ (注水用)、滅菌済み 30ml シリンジ (送気用) および滅菌済み三方活栓を用意する。
- シリンジ (注水用) を用いて、注水口から滅菌水を注入する。オーバチューブの内部全体に滅菌水を行き渡らせる。
- オーバチューブのスコープ挿入口から内視鏡を挿入して、内視鏡挿入部の根元まで到達させる。
- 内視鏡に内視鏡用バルーンを装着する。
- 内視鏡とオーバチューブのバルーン送気口にバルーンコントローラーを接続し、各々のバルーンの動作確認を行う。バルーンコントローラーとバルーン送気口との接続が正しいことを確認する。
- 内視鏡のバルーンから空気を抜いて縮ませた状態で、オーバチューブを装着した内視鏡を口腔または肛門から挿入する。内視鏡を移動させる時は、バルーンを縮ませること。
- 小腸まで挿入し、内視鏡のバルーンに空気を入れて膨らませて体腔内 (小腸) に固定する。
- 適宜、X 線透視により、バルーン、オーバチューブ、内視鏡の状態を確認する。
- オーバチューブを内視鏡のバルーンの近くまで挿入し、バルーンを膨らませて体腔内 (小腸) に固定する。
- 内視鏡のバルーンを縮めて挿入し、再び内視鏡のバルーンを膨らませて体腔内 (小腸) に固定する。
- オーバチューブのバルーンを縮め、内視鏡のバルーンの近くまで挿入し、再びオーバチューブのバルーンを膨らませて体腔内 (小腸) に固定する。

- オーバチューブごと内視鏡を引いて腸管を畳み込む。
- 上記 11~13 の操作を繰り返して挿入する。
- 検査が終了したら、内視鏡とオーバチューブ双方のバルーンを縮め、体腔内の余分な空気を吸引する。
- 使用したオーバチューブを地域の法規制に従って廃棄する。

<組み合わせて使用する医療機器>

本製品は表 2 に示す医療機器と組み合わせて使用する。

* <使用方法等に関連する使用上の注意>

* 1. 準備と点検

- 本製品は、エチレンオキシドガスによる滅菌済み製品である。滅菌パック開封前に下記の内容を確認すること。
 - 使用する内視鏡に適合していること
 - 滅菌パックが開封、破損又は汚損されていないこと
 - 使用期限内であること
- 使用直前に下記の内容を確認すること。
 - バルーン、バルーン固定部および逆止弁他、全体の外観に傷、へこみ等や患者を傷つけるおそれのある鋭い縁や突起がないこと
 - バルーン送気口より空気を入れてバルーンが膨らみ、空気漏れがないこと
- 本製品が故障するなど不測の事態に備えて、使用前に本製品の予備を用意すること。内視鏡手技を継続できない場合がある。

2. 準備・使用方法

- 滅菌パックは使用直前に開封すること。
- バルーンを使う場合は、十分な体外での基礎実験を術者自身が行い、バルーンの膨らみ具合を習得してから行うこと。バルーンを膨らませすぎると腸管を傷めるおそれがある。
- 内視鏡やオーバチューブの挿入、引き抜きはゆっくりと行うこと。オーバチューブを挿入する際は、内視鏡とオーバチューブの隙間に腸管を巻き込まないようにゆっくり操作すること。
- オーバチューブを強く消化管壁に押しつけないこと。バルーンを膨らませたまま、オーバチューブを挿入したり、引き抜いたりしないこと。消化管壁を傷めるおそれがある。
- オーバチューブ、内視鏡のバルーン送気口には水を混入させないこと。バルーンコントローラーで膨張/収縮できなくなることもあり、消化管壁を傷めるおそれがある。
- オーバチューブのバルーン送気口に水が混入した場合には、取扱説明書の「バルーンが縮まない場合の対応」に記載の方法にて、シリンジ (送気用) および三方活栓を使用してバルーンを縮ませてから、内視鏡と共にゆっくりと引き抜くこと。オーバチューブは新品と交換すること。
- オーバチューブを使用した際の有害事象として、粘膜の損傷、膵炎、高アミラーゼ血症などが報告されている。症例中、症例後も患者の経過を観察し、これらの有害事象の有無を確認すること。必要に応じて、適切な処置を行うこと。
- 出血した箇所、腸管の過度な短縮を行なわないこと。塞栓症を起こすおそれがある。
- 本製品は、X 線透視下で使用することを前提としている。X 線画像でバルーン、オーバチューブ、内視鏡の状態を確認しながら操作すること。
- チューブキットが折れ曲がったり、つぶれないようにすること。異常がある場合は、新しいチューブキットと交換すること。
- 使用中に異常を感じたら、使用を中止すること。
 - バルーンが膨張/収縮できない場合、チューブキットに折れ、つぶれ、詰まり等の異常がないか確認すること。
 - チューブキットに異常がなく、バルーンが縮まない場合、取扱説明書の「バルーンが縮まない場合の対応」に記載の方法にて、シリンジ (送気用) および三方活栓を使用し、バルーンを縮ませてから内視鏡とオーバチューブを一緒にゆっくりと引き抜くこと。シリンジで縮まない場合、医師の判断の元、適切に対処すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ004A-6 202B1321569C
1802-4.0-DC

3. バルーン操作

- (1) 本製品を使用する前に、オーバチューブのバルーンが正常に動作することを確認すること。また、バルーンコントロールローラーとバルーン送気口との接続が正しいことを確認すること。
- (2) 咽頭または食道ではバルーンを膨らませないこと。窒息のおそれがある。

【使用上の注意】

<不具合・有害事象>

本製品の使用との関連性を否定できない有害事象として、急性肺炎と高アミラーゼ血症が報告されているため、注意して使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

本製品は、下記の条件（温度、湿度、気圧）を満たす清潔な場所で保管すること。

保管条件

- * 温度：-10～+60℃
- 湿度：30～95%RH（ただし、結露状態を除く）
- 気圧：70～106kPa（大気圧範囲）
- 状態：個装箱のまま保管

<有効期間>

本製品は単回使用である。滅菌パックに表示されている期限を過ぎたものは、使用しないこと。有効期間は滅菌後3年。「自己認証（当社データ）による」

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検の詳細は、取扱説明書を参照すること。

<使用者による保守点検事項>

点検項目	頻度
外観の点検	毎症例

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

富士フィルム株式会社

TEL：0120-771669

海外製造所

大連庫利艾特医療制品有限公司

(Dalian Create Medical Products Co., Ltd.)

海外製造所の国名

中華人民共和国

販売業者

富士フィルムメディカル株式会社

TEL：03-6419-8033

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ004A-6 202B1321569C
1802-4.0-DC

取扱説明書を必ずご参照ください。

FQ004A-6 202B1321569C
1802-4.0-DC